

科目名		株式取引		担当者名	二之宮佑樹(ニミヤユウキ)	
開講年次		2	開講時期	後期	クラス	
授業形態		講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング		D1080	該当DP	DP2,DP3	実務経験	証券会社勤務
授業概要	1. 「株式取引」というと、「優良企業の株式を安く買い、高く売って利益を得る」というイメージが一般的だと思います。 2. 株式投資には、上記の他に、投資する企業の資本提供者(＝応援する人)になるという側面もあります。 3. 投資としての「株式取引」に加え、それらを取り巻く参加者にも焦点を当て、「株式」の全体像を理解するための基礎知識を習得します。 4. 株式取引には、経済環境や金利の動向、為替の動向も大きく関係してきます。重要となる経済指標の意味や、株式にどのような影響を与えるのか等についても考察します。 5. 学生自身に運用者になってもらい、株式の仮想運用を行います。講義の各回では、どのような企業の株式を売買するか、考察する時間を設ける予定です。					
到達目標	1. 株式取引に関連する、市場参加者や様々な金融機関の役割を明確に理解できるようになる。 2. 株式取引そのものに必要な、新聞の読み方、経済指標の意味、相場見通しに必要な基礎知識を理解できるようになる。 3. 株式取引の模擬体験等を通じて、普段の生活の中で、何気ないニュースや、情報の中にも、今後の経済動向を見極めていく材料があることに気付くことができるようになる。 4. なぜ、その企業を応援する(株式を購入する)かを様々な観点から分析し、論理的思考ができるようになる。					
授業計画	回	授業内容			授業外学習（内容と時間）	
	1	【オリエンテーション】 株式とは何か、仮想運用ルール説明			復習	30分
	2	【基礎編】 株式投資の意義			予習、復習	60分
	3	【基礎編】 私たちの生活と会社、会社の資金調達			予習、復習	60分
	4	【基礎編】 株式会社のしくみ、証券市場の役割			予習、復習	60分
	5	【基礎編】 経済指標と株式市場の関係			予習、復習	60分
	6	【基礎編】 金利や為替と株式市場の因果関係			予習、復習	60分
	7	【基礎編】 日経新聞の読み方、経済動向の把握			予習、復習	60分
	8	中間テスト			予習、復習	60分
	9	【実践編】 株主還元(配当金、株主優待)とは			予習、復習	60分
	10	【実践編】 株式指標の見方			予習、復習	60分
	11	【実践編】 ファンダメンタルズ分析			予習、復習	60分
	12	【実践編】 会社情報収集(四季報の見方)			予習、復習	60分
	13	【実践編】 テクニカル分析			予習、復習	60分
	14	【実践編】 信用取引とは			予習、復習	60分
	15	仮想運用の結果プレゼンテーション				
教科書		会社四季報2023年4集 秋号				
参考書						
成績評価	方法		割合	備考		
	中間テスト		35%	採点して返却		
	期末テスト		35%	採点して返却		
	プレゼンテーション		20%	プレゼンテーションは各自必ず発表していただきます。		
	受講態度		10%	取組姿勢等を評価します。		
	欠席・遅刻・早退			欠席▲3点、遅刻・早退▲1点、遅刻3回＝欠席1回とする		
履修上の注意		・講義の最終回だけでなく、途中でもプレゼンテーションの機会を設ける予定です。自分で調べ、まとめておくことが必要となります。 ・受講期間中は、特に、新聞やニュース、ネット等の情報源を活用し、政治、経済動向等に留意しておくことが、受講時に役に立ちますので、こころがけるよう求められます。 ・留学生が受講する場合、十分な日本語能力が必要。				
オフィスアワー				メールアドレス		